

クリシュナ神と悪魔シシュパーラの物語 デニース・トーマスによる「黄金の物語」の紹介

多くのシッダ・ヨーギは、子どもや若者たちが何十年にもわたり、SYDA ファウンデーションで劇を上演してきたことをよく知っています。これらの若い人々は、二つの卓越したインドの叙事詩、『ラーマーヤナ』と『マハーバーラタ』からの物語はもちろん、インドの聖人やシッダたちの物語を演じてきました。

これらの劇がどのように生まれたのかを紹介したいと思います。1998年、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムで、『マハーバーラタ』からの物語を若い人々が演じているのをグルマーイが初めて見た時、彼女は言いました。「これはとても素晴らしい——アーシュラムの取って置きの秘密ですね！ でも、アーシュラムにいる誰もが確実にこれらの劇を見られて、子どもたちがそこで生き生きと魅力的に表現している教えについて知ることができるようにする必要があります」

そこでグルマーイは、私にさらなる演劇を制作するよう要請しました。私は演劇について幅広い経験を持っているからです。私は情熱を持ってこの任務を引き受けました。そしてまさに同じ年に、グルマーイはこれらのシッダ・ヨーガの演劇を、「黄金の物語」と名付けました。

1998年から2002年の夏の間、子どもや若者たちは、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムとグルデーヴ・シッダ・ピートゥで、39の「黄金の物語」を上演しました。私は幸運にも、そのうちのかなりの数の演目を監督しました。

それ以来、シッダ・ヨーガの道の多くの子どもたちとその家族が、シッダ・ヨーガ・ファミリー・リトリートで劇を上演してきました。しかしながら、私たちが「黄金の物語」として知ることになったようなものは、2002年以降は制作されてきませんでした。

話を17年進めます。2019年8月21日、クリシュナ神の誕生日であるジャンマーシュタミーの2日前、私は新しい「黄金の物語」の上演を監督することに、わくわくしていました。『マハーバーラタ』の物語を基にした、クリシュナ神と悪魔シシュパーラについての劇です。この同じ物語は、20年前、1999年にグルデーヴ・シッダ・ピートゥで、初めて「黄金の物語」として制作されました。そして何が起きたと思いますか？それが上演されたのも、1999年のジャンマーシュタミーの2日前だったのです。

実際、この「黄金の物語」と何年も前の「黄金の物語」の間には、多くの類似点がありました。例えば、今年の「黄金の物語」も以前に上演されたものと同様、たった4日間で制作されたのです！

今年の8月18日の日曜日、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムに短期訪問していたあるセーヴァイトが、「黄金の物語」が上演される前にアーシュラムを離れることを悲しんでいた時、グルマーイはこう言いました。「では、もし『マハーバーラタ』からのこの素晴らしい物語を子どもたちが演じるのを、ビデオ撮影の人がうまく撮ることができたなら——覚えていてください、もし、ですよ——そうしたら、もしかするとデニースがそれをシッダ・ヨーガの道のウェブサイトに掲載することを考えるかもしれませんね」

ですから、大きな喜びをもって皆さんにお伝えします。そうです、ビデオ撮影の人たちは成し遂げました！これから、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムにいる人だけでなく、世界中のシッダ・ヨーガ・サンガムの誰もが、シッダ・ヨーガの道の子どもたちと若者たちが教典の貴重で深遠な教えを、いかに信じられないくらい表現し続けているかを知ることができます。

「黄金の物語」が始まる直前には、若い役者たちが行列を組んで、「道を空けて、道を空けて！」と宣言する町の触れ役のように、サツァングホールに入って来るのが習わしです。ですから今、私が皆さんに言います。「道を空けて、道を空けて！」クリシュナ神のダルシヤンを受け取り、彼の教えにあなたの心を清めてもらう準備をしてください。



© 2019 SYDA Foundation®. 著作権所有。